

第13回 U15 クラブバスケットボールゲームス出場

12月25日(水)～ 27日(金)に愛知県で行われた「第13回 U15 クラブバスケットボールゲームス」に宇美中学校1年生の山脇舞花さん(やまわき まいか)が出場されました。

山脇さんは、先輩に誘われて桜原小のミニバスケットボールに入部したことをきっかけにバスケットボールを始め、現在は大野城市のクラブチームGRIZZLY(グリズリー)で活動されています。

「バスケットボールは、チームメイトと練習をして努力した分、試合で成果を発揮できることが魅力です。本大会で思うような結果を出せなかったのが、たくさん練習をしてもう一度全国大会に出場し、活躍したいです」と目標を教えてくださいました。



▲プレー中の山脇さん

2024 IQFOIL ユース/ジュニアクラス全日本選手権で優勝

11月23日(土)～ 24日(日)に神奈川県で行われた「2024 IQFOIL ユース/ジュニアクラス全日本選手権」で香椎高校2年生(宇美中学校出身)の小園正虎さん(こその まさと)が優勝されました。

中学2年生でウインドサーフィンを始めたという小園さんは、「ウインドサーフィンは、時速約40kmの速いスピードで走ることができるので爽快感があり、仲間と一緒に走ることが楽しいです。今後は国際大会に出場し、シニアの選手と戦えるレベルまで力をつけ、最終的にはオリンピック出場を目指しています」と話されていました。



▲競技中の小園さん

第33回九州地区選抜空手道選手権大会出場

11月17日(日)に直方市で行われた「第33回九州地区選抜空手道選手権大会」に内村勇貴さん(うちむら ゆうき)と柊聖さん(しゅうせい)が親子で出場し、勇貴さんが形で3位、息子の柊聖さんが組手で2位に入賞されました。お二人は、日本空手宇美支部で活躍されており、勇貴さんは指導者としても活動されています。

勇貴さんは、「今回の経験を生かし、指導者としてはもちろん自分自身も空手家としての気持ちを忘れずに練習に取り組んでいきたいです。2025年は九州地区の団体戦で親子でチームを組んで出場する予定なので優勝を目指して頑張りたいです」と話されました。



▲賞状を手にする父の内村勇貴さん(左)と息子の柊聖さん(右)

健康づくり地域交流フェスタ～アビスパ福岡とボール遊び～開催

1月18日(土)に総合スポーツ公園で「健康づくり地域交流フェスタ～アビスパ福岡とボール遊び～」を開催しました。

このイベントは、地域における高齢化や少子化に対応するため、世代間交流や健康増進を図ることを目的に開催しています。

当日は、60人以上が参加し、アビーくん、ビビーちゃんとのグリーティングや9つのレクリエーションで楽しまれました。



▲参加者みんなで楽しめました

内野艶和選手に宇美町特別表彰を授与

1月19日(日)に令和6年度宇美町特別表彰授与式が行われ、パリ2024オリンピック自転車競技トラックレースに出場された宇美小学校・宇美中学校出身の内野艶和選手(うちの つやが)に表彰状と記念品の盾が贈呈されました。

安川町長からの「内野選手の活躍により、こどもたちが、夢を持つことの素晴らしさや、夢に向かって努力し続けることの大切さを学んだことと思います。これからも町民の皆さまと一緒に内野選手のチャレンジを応援していきます」との激励の言葉に、内野選手からは、「オリンピック出場にあたり、小学生、中学生をはじめ、宇美町の皆さんから応援メッセージをいただき、最高の舞台を走り切ることができました。2028年ロスオリンピック出場を目指し、メダルを持ち帰ることができるように頑張ります。今後も応援していただけると嬉しいです」と力強い決意の言葉をいただきました。

最後に、内野選手が小学生時代に所属していたバスケットボールチームである「宇美ドリームダンカーズ」の後輩たちからも応援メッセージと花束贈呈が行われました。

「特別表彰」とは

特定分野における顕著な功績により、町および町民の誇りとなると認められる人に贈られる表彰で、内野選手が初めての受賞となります。



▲挨拶をする内野選手



▲特別表彰を受賞された内野選手



▲内野選手(後列真ん中)と宇美ドリームダンカーズの皆さん

デフサッカー日本代表キャプテンの松元卓巳選手が優勝報告!

11月30日(土)～ 12月8日(日)にマレーシアで開催された『第10回アジア太平洋ろう者競技大会』で優勝した町内在住の松元卓巳選手(まつもと たくみ)(ゴールキーパー)が、優勝報告に来庁されました。デフサッカー日本代表は、昨年度のワールドカップでも準優勝に輝いています。

役場庁舎にて職員に迎えられ、花束を贈られた松元選手は、その後町長と対談し、「本当に多くの人に支えられ、この場に立てています。町をあげて応援していただき、ありがとうございます。11月に東京2025デフリンピックが開催されますが、日本での認知度は16.3%です。私は90%を目指して活動しています。そのためにも東京2025デフリンピックでは、何としても金メダルを獲らないといけないと思っています」と、強い意気込みを語られました。

松元選手は、デフリンピックの認知度向上のため、メディア出演や講演会など積極的に活動されています。

アジア大会に続き、東京2025デフリンピックでもデフサッカー日本代表のメダル獲得が期待されます。

デフリンピックとは

4年ごとに開催される国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」で、11月に日本で初めて開催されます。



▲金メダル獲得おめでとうございます!



▲松元選手の小学生時代の監督であった安川町長との対談



FBSの番組にて、松元選手の活躍が取り上げられています。YouTubeにて公開されていますのでぜひご覧ください。なお、こちらは作成者の確認の上掲載しています。